



2018-2019 年度年次報告書

応援してくださったみなさまへ

Sodateage-Net Annual Report 2018-2019

2018年8月～2019年7月

当法人にご協力いただき、ありがとうございました。
おかげさまで、さまざまな活動を行うことができました。
ご報告をもって、御礼にかえさせていただきます。



〒190-0011 東京都立川市高松町 2-9-22 生活館ビル 3F

TEL : 042-527-6051 / FAX : 042-548-1368

www.sodateage.net info@sodateage.net



sodateage.net



@sodateagenet

私たちはいろいろな手段によって、寄付を募っています。
ぜひ、私たちのサイトをチェックしてください。



<https://www.sodateage.net/investment/>



育て上げネットの15年

2004年にNPO法人化した育て上げネットは、2019年、15周年を迎えました。少しずつ、でも着実に、より多くの若者を支えられるようになりました。これからも、若者の多様な問題に対して裾野を広げていこうと思います。今後ともよろしく願いいたします。

将来の孤立
リスクを抱える
高校生

地方や海外で
自立に悩む
若者と家族
(オンライン対応)

PCに触れ、
学ぶ機会を
得られなかった
若者

少年院出院者など
更生自立が必要な若者

児童養護施設
出身者

無業の若者

自立に悩む
子どもを抱える
家族

外国にルーツを持つ
子ども・若者

働きたいのに
働けない若者

多様な問題を
抱える家庭の
小・中学生

ひきこもり
状態の若者

LGBTなど
多様性に関わる
不安を持つ若者



育て上げネットの使命は、
若者にあった「働く」と「働き続ける」を
つくること。

私たちは、若者の言葉にならない想いを受けとめ、
若者の可能性とともに探求します。
そして、若者が選ぶ「働く」を支えていきます。
もし、若者が望むならば、若者とチームになってその課題を解決します。

育て上げネットで若者が経験すること、
それは、ひとりではない心強さ、頼ってもいい安心感、
そして、「働く」を通じた社会とのつながりです。

育て上げネットは、
みんなで若者を応援する。

私たちは、若者のことを社会に伝えつづけます。
そして、若者を支えていく仕組みを社会につくります。
もし、社会に課題があるならば、それをみんなで解決していきます。

みんなが育て上げネットで経験すること、
それは、「若者のために」という想い、ともに成長する実感、
そして、若者とつながる社会との出会いです。



「ひとりでも多くの若者を支えたい
応援したい」という一心で活動しています。

育て上げネットを立ち上げてから 15 年が経ちました。寄付者
のみならず、多くの理解者と協力者のおかげで活動の継続がで
きていること、心より感謝申し上げます。

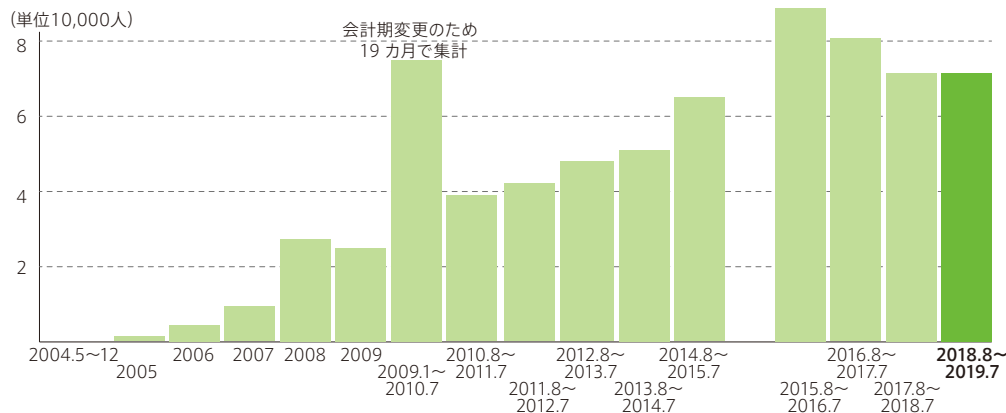
よく「いろいろやっているね」と言われます。傍から見れば、
さまざまなひとたち、分野に活動を広げているように感じられ
るかもしれませんが、しかし、私たちは「すべての若者が社会的
所属を獲得し、“働く”と“働き続ける”を実現できる社会」のため、
一つひとつやれることをやっていきたいと考えています。

そのなかでも NPO、企業、行政などたくさんの志を同じくす
るひとたちと手をつなぎ、ひとりでも多くの若者を支えたい、応
援したいという一心で活動しています。これから先の未来を生
きる若者が、自身の将来に希望を持ち、道を歩んでいくこと。
その傍らにそっといさせてもらい、彼ら・彼女らが課題に直面
したとき、そっと解決の手を差し伸べられるようにしていきます。

認定特定非営利活動法人育て上げネット
理事長 工藤 啓



今年度もたくさんの人々を
支援することができました。



2018-2019 年度受益者数
(2018年8月~2019年7月)

73,838人

すべてに近づき 社会を創る

15年の支援を通じて、わたしたちは多くの若者と出会う機会をいただきました。

しかし、無業の若者の統計推移は60万人を下回ることなく、むしろ長期化による課題がメディアでも取り上げられています。

これまでに出会えた若者を支えるだけでは、私たちの目指す「すべての若者の社会的所属の獲得」を実現することができないのではないかと……。そんな想いから、これまで接点を持つことができていなかった領域に私たち自身が近づいていく取り組みを始めました。

そのひとつが社会から「見えにくい」存在となっている若者を支える活動。

少年院を経験した若者の更正自立の支援はそのひとつの具体的なアクションです。

法制度改正を契機に、院内での支援を開始しました。退院後も継続して応援を続け、社会のなかで孤立をさせないサポートを続けています。

同時に、こうした若者を支えるマンスリーサポーターの募集を始めました。少年院を退院して、突如、社会のなかで生きていくことを期待され、不安にかられる彼らを応援している大人がいることを知ってもらい、社会に希望をもってもらいたいと願っています。

今後も、児童養護施設や外国にルーツを持つ若者など、さまざまな要因で社会とのつながりを持ちにくい存在に積極的に近づき、すべての若者と社会とのつながり創出を目指します。



育て上げネット・学習支援事業

● たちがわユースセンター ●

学習支援事業では「たちがわユースセンター」を開設しました。就労が現実的ではない学齢期の子どもや、既存の支援事業では受け入れられない若者を支援しています。小・中・高校生を対象とした学習支援事業も一緒に移転し、子ども達からは「利用しやすくなった!」と喜ばれています。集中して勉強するスペース、少人数で過ごすスペース、オープンスペースなど空間を分けることもできたので、「その子に合った環境で過ごしてもらいやすくなった」とスタッフも実感しています。



▶ 立川駅より徒歩5分に
居心地のよい空間ができました。

若年者就労基礎訓練プログラム

ジョブトレ

従来の「仕事」ととらわれない、多様な支援を行っています(P10参照)。例えば、手芸の得意な若者への手作りアクセサリー販売機会提供をきっかけに、個人でアクセサリーのネット販売を開始した若者や、テレワークのインターンへの参加をきっかけに、フリーランスで在宅の仕事をしている若者がいます。このように若者自身の「できること・やりたいこと」を活かす支援に注力しています。



▲若者が販売している
アクセサリー

育て上げネットの教育支援事業

Connectionシリーズ

教育支援事業では、昨年度から注力してきた“学校・生徒と若者支援現場をつなげる”という役割において、矯正教育現場のニーズに応えるかたちで、対象を少年院まで拡げることになりました。紫明女子学院・茨城農芸学院において、金銭基礎教育プログラム「MoneyConnection®」を実施。出院後の自立に必要な情報を提供しました。これまで高校現場で培った無業化予防の情報提供のノウハウを、今後は更生自立支援の中でも活かしていきます。



子どもの将来 相談窓口



わが子が一歩を踏み出すための支援プログラム「結」では、ご家族と定期相談を行い、接し方や伝え方を学ぶワークショップ、母親同士の茶話会等の機会を提供しています。最近では、不登校や中退など学齢期の悩みから、就活でのつまずきや氷河期世代の悩みまで、相談は多様化し課題の幅が広がっています。また、公益財団法人電気通信普及財団からの助成により、時間と距離を超えた「オンライン結」を実施。家にいながら安心して相談ができるとニーズも増えています。

▶ 大阪の会場と立川本部をオンラインでつないでセミナー実施。



働くを 拡張していく

ミハルさんとの出会いが
「就労支援」を再確認させてくれました。

わたしたちはミハルさんという女性に会いました。

ミハルさんは「働く」ことにまだ実感がありませんでした。

支援の過程で、ミハルさんがイヤリングやアクセサリを作ることが得意だとわかりました。あまりのクオリティの高さに盛り上がるスタッフ。すると「やりたいことをやり続けられる生活がしたい」と心のうちを話してくれました。

スタッフはオンラインフリーマーケットを使って、作品を売ってみたいかと提案。ミハルさんは半信半疑でしたが、スタッフと一緒にイヤリングを出品してみました。

出品した商品はすぐに SOLDOUT。ミハルさんは満面の笑みを見せてくれました。

ミハルさんはその後、自分でたくさんの商品を出品していきます。しかし、「材料費もかかるし、これだけで食べていけるだけのアクセサリを作るのはしんどい」と話すようになりました。

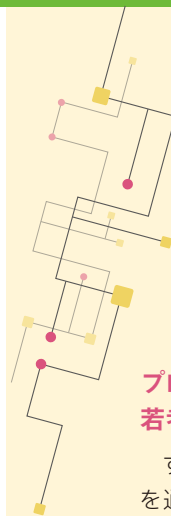
ミハルさんは、制作時間とのバランスをとって週3日ほどのアルバイトを始めました。ミハルさんの「働く」は、必ずしも毎日のようにアクセサリを作って生計を成り立たせることではないと本人が気づき、それを補うようにアルバイトを始めたのです。

「就労支援」という言葉は、「雇われる」を目標にしがちでした。ミハルさんとの出会いは「就職」は私たちの支援のひとつではあるけれど、すべてではないと改めて思わせてくれました。

育て上げネットは若者の「働く」を実現するために多様な選択を応援できるよう「働く」の拡張を推進しています。

ミハルさんの作品は右記のサイトで購入できます。

miharunrun'S GALLERY



T

若者 TECH プロジェクト

Wakamono TECH Project

はじまっています

プログラミングを学ぶ・楽しみ、
若者支援に生かすプロジェクトです。

すべての若者支援現場に、ICTを学び、ICT学習を通じて成長する機会をつくり、若者の成長可能性と雇用可能性を最大化することをめざして、日本マイクロソフト株式会社と若者支援に取り組むNPOが協働し、若者支援現場で活用できるプログラミング講座のカリキュラムを「開発」「検証・ブラッシュアップ」「普及」する取り組みです。わたしたちは、事務局を担当しています。

2018年度からテスト的にスタートし、2020年度は受講生3000人以上を目指しています。

支援者が
プログラミング
未経験でも実施可能

プログラミングを
通じて
若者の成長を促す

受講した若者の声

正直、最初は難しいと思っていましたが、
手順が非常に簡単でわかりやすかったです。
こういうことができるんだと
すごく感じました (micro:bit 受講者)

講師をした支援者の声

「質問には全て答えなければ」という
発想が強かったのですが、
今では若者は頼りになるなあ…と思います
(Hour of Code、micro:bitを担当)

▶ 支援団体等を集めた
カンファレンスで語る
理事長・工藤啓





私どもの活動にご支援ありがとうございます。

ご支援くださった方全員のお名前を掲載することはできませんが、重ね重ね感謝いたします。法人・団体でのご支援をご紹介させていただきます。

五十音順 敬称略

J.P. モルガン

JP モルガン証券株式会社 JP モルガン・チェース銀行東京支店
JP モルガン・アセット・マネジメント株式会社
Youth Drive for Flexible Digital Work

新生銀行グループ

西友/ウォルマート・ジャパン

日本マイクロソフト株式会社

株式会社リクルートホールディングス

アクセンチュア株式会社

コーポレート・シチズンシップ推進室 就業力・起業力強化

AdobeFoundation

ディースタンダード株式会社

株式会社バリューブックス

株式会社フェブ

アソシエネットワーク株式会社

株式会社ウィザス

FC 東京 (東京フットボールクラブ株式会社)

株式会社 MNH

株式会社鎌倉新書

株式会社ギア

キャスレーコンサルティング株式会社

J.P.Morgan

●「Youth Drive for Digital Flexible Jobs」



●「若者 TECH プロジェクト」



●金銭基礎教育プログラム「マネーコネクション®」



●「WORK FIT (ワークフィット)」プログラム



●若者就労・応援パッケージ「西友パック」



VALUE BOOKS

D-STANDARD

株式会社 CAMPFIRE

株式会社クオント

gooddo 株式会社

グランドサークルコーポレーション
(OverseasAdventureTravel)

シーピーエス株式会社

シスコシステムズ合同会社

スリール株式会社

NPO 法人 SONATA

ソフトバンク株式会社

泰伸工業株式会社

タイセイグループ株式会社プレスト

株式会社武本測量

公益社団法人立川法人会

農事組合法人丹波山倶楽部

株式会社ダンクソフト

株式会社 Deer

株式会社デファクトスタンダード

デロイトトーマツコンサルティング合同会社

公益財団法人電気通信普及財団

日本たばこ産業株式会社

公益社団法人日本フィランソロピー協会

パーソルキャリア株式会社

バーバリー・ジャパン株式会社

Bytedance 株式会社

株式会社平山

藤原印刷株式会社

府中市市民活動センター ブラッツ

株式会社ベルシステム24

マカイラ株式会社

南富士株式会社

公益社団法人武蔵野法人会

一般財団法人村上財団

メディカル・ケア・サービス株式会社

Yahoo! ネット募金

株式会社 LIFULL

NPO 法人 LAMP

株式会社リジョイスカンパニー

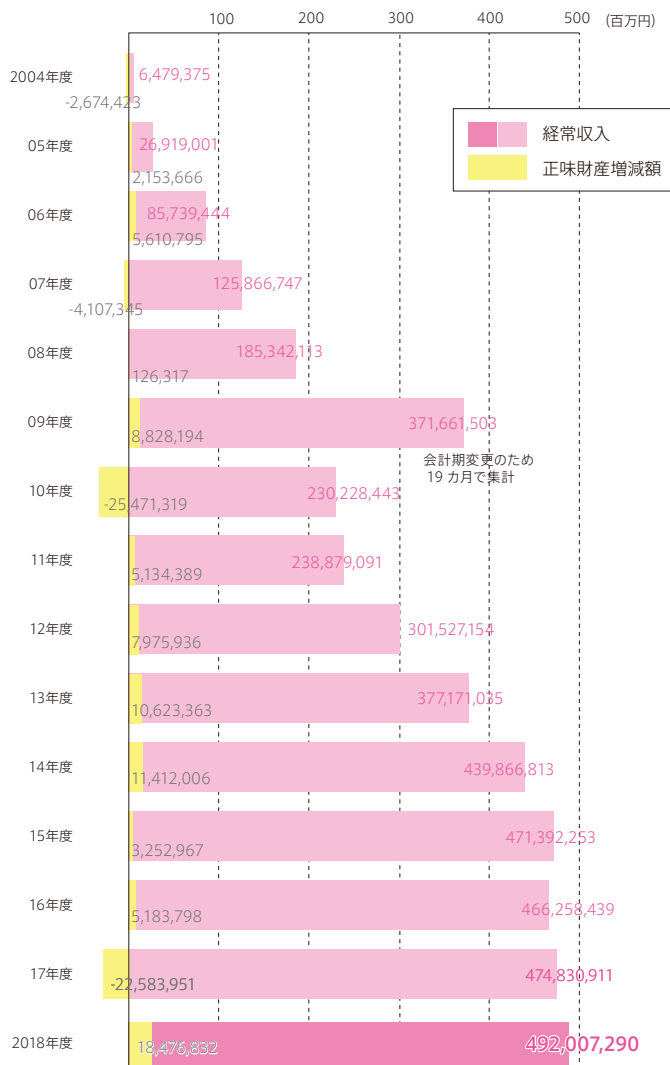
リンクトイン・ジャパン株式会社

株式会社レナウン

株式会社ワイズ・インフィニティ

株式会社 waja


 会計報告

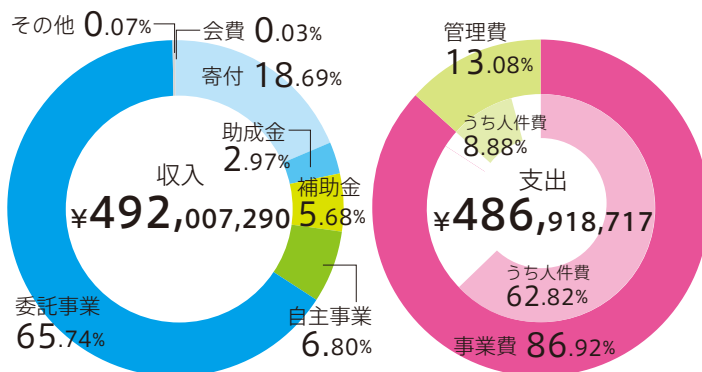
 2018～2019年度の経常収入
 および正味財産増減額の推移


今年度は、対前年比で収入3.6% (約17,000,000円) 増、支出2% (約10,000,000円) 減となり、約5,000,000円の経常収益を計上することができました。これは事業収益の減少分 (約12,000,000円) を上回る寄付金額の増加 (約27,500,000円) によるものです。

平素より育て上げネットを応援して下さる、多くのみなさまのご厚志に心よりお礼申し上げます。ご寄付くださった金員は一人でも多くの若者に支援が届くよう、大切に使用させていただきます。

今年度も、みなさま方からの叱咤激励を励みとし、これまで以上にビジョン、ミッション実現のために邁進してまいりたい所存でございますので、宜しくお願い申し上げます。

2018～2019年度の収入・支出内訳



*2009年度は、会計期間変更 (定款変更) のため、会計期間が19カ月あります。
 *当法人の会計は、NPO会計基準に基づくとともに毎月税理士による監査を受け入れ、適切に処理しています。